

令和7年1月吉日

佐賀県バレーボール協会関係者 各位
加盟団体バレーボール指導者 各位

佐賀県バレーボール協会
会 長 富吉 賢太郎

「NO! スポハラ」不適切な指導等の撲滅について（お願い）

日頃から、バレーボール活動にご尽力いただいております指導者をはじめとする関係者の皆さまに感謝申し上げますとともに心からお礼申し上げます。

日本バレーボール協会（JVA）は、みんなが安心して楽しめるバレーボールの世界を作るために、暴力・体罰・ハラスメントを徹底的に無くしていく「暴力撤廃アクション」を進めています。佐賀県バレーボール協会も同じ考えで活動をしています。しかしながら、バレーボール活動の現場における不適切な指導・チーム運営等に関する通報が多く、全国ではJSPO、JVAの相談窓口へ400件近く上がっています。

選手の成長やスキルアップのペースが遅かったり、ゲームに負けたりすると、指導者としてはもどかしい思いをしたり、腹立たしく感じたりすることがあるかもしれません。熱意を持って指導にあたれば、なおさらその思いが強くなるのかもしれませんが、しかし、上手くなるための指導、試合に勝つための指導にどんなに愛情があったとしても、厳しいその指導は、暴力になることがあります。手を出していなくても、その言葉が、その態度が、暴力になることがあります。

人は失敗して成長すること、失敗は成長の糧であることを認識することが重要です。そして必要なのは、暴言・暴力ではなく、選手をひとりの人格として認め、選手の話聴き、共に考える、そして指導のあり方を見直すことです。このことに留意しないと、熱意が罵声や殴打などの誤った言動に変わってしまいます。

選手が生涯にわたってスポーツを実践するためには、彼ら自らが「バレーボールは楽しい」と感じ、彼らが「バレーボールを本当に好きになる」ことが必要です。そのためには、バレーボール活動の中から、バレーボール嫌いになる要因となる暴言・暴力・ハラスメントなどの不適切な行為を根絶しなければなりません。スポーツを通して、人として生きていく力を養うことを目的とするスポーツ活動と暴言・暴力を伴う指導現場は決して相容れることはありません。

是非、ご自分の指導が暴言・暴力、性、差別、パワーなどによるハラスメントおよび精神的な追い込みなど、指導の行き過ぎの面がないかどうか省み、指導改善ができるようにしましょう。また、周囲でそのような指導がなされていないかどうか確認していただき、万一そのような行為があれば勇気を出して、佐賀県バレーボール協会に連絡していただくようお願いいたします。

わたしたちが愛するバレーボールを暴言・暴力などの不適切な指導やチーム運営から守るために、チーム関係者および役員の皆さまのご協力についてよろしくようお願いいたします。